

受動喫煙症診断書の例 (職場における受動喫煙)

診断書

患者 ( ) 氏 (生年月日)

病名 受動喫煙症

患者は(1)に示した理由により上記疾患に罹患していると診断される。

下記(2)に記載した治療ならびに職場の完全禁煙等の対策を速やかに実施する必要がある。

(1) 診断理由

① 患者は現在非喫煙者である

- もともと非喫煙者である。
- 以前喫煙者であったが、( ) 年前に禁煙した。

② 受動喫煙により体調不良が出現する

職場で受動喫煙(タバコの煙あるいはタバコ臭)にさらされると、以下の症状が出現する[該当に○]:

頭痛 目・鼻・のどの刺激症状 咳 喘鳴 動悸 はきけ めまい 倦怠感  
気管支喘息 気管支炎 狭心症 咽頭炎 喉頭炎 鼻炎 結膜炎 中耳炎  
その他詳述:

③ 受動喫煙の有無と体調不良に関連が見られる

受動喫煙があると体調不良になり、受動喫煙のない休業日などには体調が改善する。  
詳述:

(2) 必要な治療・対策 [該当に○]

- 受動喫煙症治療 (通院 入院 休業)
- 職場の完全禁煙 (喫煙室廃止 敷地内禁煙 車内禁煙)
- サードHANDSモーキング(タバコ臭)防止  
(就業中喫煙禁止 タバコ臭なしオフィス・車両の提供)

その他詳述:

診断年月日	医療機関名	診断医師名